

音楽とダンスの華麗なる饗宴
上質の音楽で一流のバレエを

Manuel Legris

Stars in Blue

BALLET & MUSIC

マニエル・ルグリ
スターズ・イン・ブルー
バレエ & ミュージック



三浦文彰

ヴァイオリン

2009年世界最難関ハノーファー国際コンクールで史上最年少の16歳で優勝。NHK大河ドラマ「真田丸」の演奏も話題に。18年はロンドンでズーカマン指揮ロイヤル・フィルと、サンクトペテルブルクの白夜祭でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演して大成功。使用楽器は、京次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作「Viotti」。

バレエ界のスター達との共演をとても嬉しく思います。

私は以前もこのプロジェクトに参加させていただきましたが、素晴らしいパフォーマンスを目の前に演奏するのはとても新鮮で刺激的な体験となりました。世界トップクラスの魅力的なメンバーとの踊りと音楽の親密なステージをお楽しみください。

田村 響

ピアノ

2007年ロン・ティボー国際コンクール第1位。これまでに、ケルン放送響、NHK響、東京都響、名古屋フィル等と共演。ヨーロッパおよび日本でのリサイタルのほか、室内楽にも取り組み、ヴェンゲローフ、堀米ゆず子、宮田大、三浦文彰等と共演。06年出光音楽賞、15年文化庁芸術祭音楽部門新人賞等、受賞多数。京都市立芸術大学専任講師。

一流ダンサーの皆さまと共演させていただける事を、私自身も今からとても楽しみにしております。何度も共演しているヴァイオリニスト三浦さんとの音楽と華麗なバレエが融合される舞台を、皆さまにも是非ご堪能いただきたいと思います。どうぞご期待ください！会場でお待ちしております。

〔演奏曲〕

「ネル・コル・ピウ変奏曲」

作曲：ニコロ・パガニーニ

演奏：三浦文彰（ヴァイオリン）

同名のオペラのアリアによる変奏曲。2本で演奏するべき曲を、1本のヴァイオリンで演奏する難曲であり、パガニーニのヴァイオリン演奏のあまりの上手さに、「彼の演奏技術は、悪魔に魂を売り渡した代償として手に入れたものだ」と噂された。

「ツイガース」

作曲：モーリス・ラヴェル

演奏：三浦文彰（ヴァイオリン）、田村 響（ピアノ）

ツイガースとはフランス語でハンガリーのロマ民族を意味する。ハンガリー音楽から想を得て、東洋風のメロディによる超絶技巧を駆使した難曲であり、コンサートでの大人気曲である。

「ノクターン第20番（遺作）」

作曲：フレデリック・ショパン

演奏：田村 響（ピアノ）

1830年の春、ショパンがまだ20歳の頃に作曲された。誰もが一度は耳にしたことがあるだろう美しいメロディ、人生に悩む若きショパン青年の苦悩が切なく美しく心に迫ってくる名曲。

「華麗なる大円舞曲」

作曲：フレデリック・ショパン

演奏：田村 響（ピアノ）

1833年にショパンが発表したワルツ作品の第1作目。ウィーンで当時流行していたウィンナ・ワルツのブームの華やかさによって人気を博した。

バレエ界のレジェンド
マニエル・ルグリ率いるバレエダンサーと
音楽のスターたちの夢の饗宴

Manuel Legris

Stars in Blue

BALLET & MUSIC



マニエル・ルグリ

スターズ・イン・ブルー

バレエ & ミュージック

Dancer

マニエル・ルグリ（ウィーン国立バレエ団 芸術監督）

オルガ・スミルノワ（ボリショイ・バレエ プリンシパル）

セミョーン・チュージン（ボリショイ・バレエ プリンシパル）

木本全優（ウィーン国立バレエ団 プリンシパル）

Musician

三浦文彰（ヴァイオリン）

田村 響（ピアノ）

滝澤志野（ピアノ／ウィーン国立バレエ団 専属ピアニスト）

2019年日本ツアー

【東京】3/8(金)・9(土) 東京芸術劇場 【大阪】3/11(月) ザ・シンフォニーホール(大阪)

【宮崎】3/14(木) メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場) 【愛知】3/17(日) 愛知県芸術劇場

Dance Concert

愛知県芸術劇場

2019(平成31)年

3/8(金)19:00開演 9(土)14:00開演 東京芸術劇場コンサートホール

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 企画・制作：愛知県芸術劇場 企画協力：ベルチェ・アソシエーツ

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre



至宝のバレエダンサー マニユエル・ルグリ ポリショイの若き舞姫 オルガ・スミルノワ 世紀の初共演を、お見逃しなく！

踊るのは、アレッサンドロ・バリッコの世界的ベストセラー小説
『絹(シルク)』から想を得た新作パ・ド・ドゥ

『シルク(仮題)』 新作 世界初演

原作：アレッサンドロ・バリッコ著『絹(シルク)』より 振付：パトリック・ド・バナ
音楽：クリストフ・ヴィリバルト・グルック、フィリップ・グラス
出演：マニユエル・ルグリ、オルガ・スミルノワ、三浦文彰(ヴァイオリン)、田村響(ピアノ)

音楽は私の生命力でもあります。四名のダンサーとヴァイオリニストの三浦文彰さんとピアニストの田村響さんが、ただ純粋にぶつかり合う。こうした音楽家とダンサーが魂を見せ合うことが、真に音楽とダンスが会う美しい舞台となるに違いありません。そして、まさか私がオルガと共演するとは思いませんでした。今回の新作は私にとって贈り物なのです。この作品を大きな喜びをもって創造し、オルガと共に踊れることを楽しみにしております。

マニユエル・ルグリ
(ウィーン国立バレエ団 芸術監督)

『シルク(仮)』について

新作は、詩人のアレッサンドロ・バリッコ原作の『絹(シルク)』を発想の源としています。これは一人のフランス人が、綺麗な糸をはく特別な蚕を探してフランスに持ち帰るために日本を旅するという19世紀を舞台とした物語です。マニユエル・ルグリとオルガ・スミルノワのための新作を創作するにあたり、私は何か特別な感情が必要だと思いました。「沈黙の愛」という、この物語に描かれている衝撃的なエモーションが、偉大な二人のダンサーのパ・ド・ドゥに相応しいと感じたのです。マニユエルとオルガ、このまったくタイプの違う二人のスターの初共演。この創作は、まさにふたつの文化が結婚することへのチャレンジとも言えます。オルガはロシア出身で、正統派のワガノワ・バレエ教育を受けたポリショイ・バレエのスターです。いっぽうルグリは純粋なパリ・オペラ座スタイルのバレエ・ダンサーです。もちろん年齢にも大きな差があります。この全く異なる文化の融合は、二つの世代を結婚させる試みでもあり、それは私自身への天からの贈り物なのです。

from パトリック・ド・バナ

パトリックさんには、人間としても振付家としても魅了されています。彼はクリエイティブでポジティブ、そしてとても温かい方です。彼の新作は、きっと温かい雰囲気の中で創造されていくことでしょう。待ちきれないほど楽しみです。伝説のダンサーで、私に大きなインスピレーションを与えてくださるルグリさんと踊ることは、本当に貴重な機会です。この日本のプロジェクトにはとても感謝しています。日本の観客の皆さまには、まさに「芸術の結合」をご覧いただくことになるのです。

オルガ・スミルノワ
(ポリショイ・バレエ プリンシパル)



『鏡の中の鏡(仮題)』 世界 初演

振付：パトリック・ド・バナ 音楽：アルヴォ・ペルト
出演：セシオン・チュージン、木本全優、三浦文彰(ヴァイオリン)、田村響(ピアノ)

二人の男性、セシオン・チュージンと木本全優のために振付が加えられて進化した作品。三浦文彰と田村響によって奏でられるペルトの美しい音楽に乗って繰り広げられる。ポリショイのトップダンサーのチュージンとルグリに鍛えられ成長したと自認する木本のバレエ・テクニックと表現力に注目。



2019(平成31)年 **3/8(金) 19:00開演 9(土) 14:00開演**
東京芸術劇場コンサートホール

料金(全席指定・税込) SS席13,000円／S席11,000円／A席8,000円／B席6,000円／C席4,000円／D席3,000円／25歳以下2,000円／高校生以下1,000円

※25歳以下、高校生以下割引は東京芸術劇場にて取扱い(枚数限定、要証明書)。 ※障害をお持ちの方は、割引料金でご鑑賞いただけます。詳細は東京芸術劇場ボックスオフィスまでお問合せください。(要事前予約)
※未就学児の入場はお断りいたします。 ※やむを得ない理由により出演者等変更の可能性がございますのでご了承ください。 ※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更は承れません。
※公演中の入退場、写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。 ※開演時間に遅れますと、入場をお待ちいただくことや、自席にご案内できない場合がございます。
※出演者・内容は、2018(平成30)年11月30日現在のものです。 ※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合があります。
【託児サービスのご案内】東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。(有料・定員制・希望日1週間前迄に要申込) ご予約受付・お問合せ：HITOWAキャリアサポート株式会社わらべうた 0120-415-306(平日9:00～17:00)

チケット取扱
◎東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>(PC) <http://www.geigeki.jp/i/t/>(携帯)
◎チケットぴあ 0570-02-9999(24時間・音声自動応答)【Pコード:489-545】 <http://pia.jp/t/geigeki/>(PC・携帯)
◎ローソンチケット 0570-084-003(音声自動応答・要Lコード)【Lコード:34543】 0570-000-407(オペレーター対応10:00～20:00) <http://l-tike.com/>(PC・携帯) ローソン・ミニストップ店内Loppi
◎イープラス <http://eplus.jp/>(PC・携帯)

お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296(休館日を除く10:00～19:00) <http://www.geigeki.jp/> 171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

マニユエル・ルグリ直伝のヌレエフ版! 美しい!とルグリ絶賛!

『白鳥の湖』より 第1幕のヴァリエーション

振付：ルドルフ・ヌレエフ 音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
出演：木本全優、三浦文彰(ヴァイオリン)、田村響(ピアノ)

『白鳥の湖』の第1幕で踊られる、美しい王子のスロー・ヴァリエーション。この作品の振付家でもあるヌレエフ自身の映像も残っている。その後、ルグリを始め、世界のカリスマ的男性ダンサーたちに踊られているが、ルグリが“美しい!”と大絶賛する木本全優のソロは見逃せない。

僕自身、音楽性を重視してきましたが、ウィーン国立バレエ団に入って、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏で踊るようになったことで、音楽をさらに重要に感じる日々です。今回の新しいかたちでの音楽との出会いに期待しています。また音楽家に加えて、ルグリ監督と、セシオン、オルガという僕にとって雲の上の存在の人たちと踊れるのを楽しみにしています。観客の皆さまもぜひ楽しんでください!!

木本全優
(ウィーン国立バレエ団 プリンシパル)



『瀕死の白鳥』

振付：ミハイル・フォーキン 音楽：カミーユ・サン＝サーンス
出演：オルガ・スミルノワ、三浦文彰(ヴァイオリン)、田村響(ピアノ)

ロシアのアンナ・パヴロワに捧げられ、その後、プリセツカヤ、ロバートキナなどのロシアの至宝的バレリーナに引き継がれた本作に、現在世界トップバレリーナの一人であるオルガ・スミルノワが挑む。日本初登場。

ルグリさんとの仕事は、いつも私にとって幸せをもたらしてくれます。私は彼との仕事のために、大きな期待を持ってウィーンに行く準備をしてきました。また振付家のパトリックさんとは、かねてから一緒に仕事をしたいと思っていましたので、ようやく実現することになり、とても嬉しく思います。全優とのクリエーションは、新鮮で素晴らしい、ワクワクしています。まさにエキサイティング! 新作を日本で世界初演できることがとても幸せです。

セシオン・チュージン
(ポリショイ・バレエ プリンシパル)

『タイスの瞑想曲』「マ・パヴロワ」より

振付：ローラン・ブティ 音楽：ジュール・マスネ
出演：オルガ・スミルノワ、セシオン・チュージン 三浦文彰(ヴァイオリン)、田村響(ピアノ)

ローラン・ブティがドミニク・カルフォーニとデニス・ガニオのために振り付けたパ・ド・ドゥを、カルフォーニに憧れるスミルノワの強い希望で日本初上演。ポリショイのトップ・ダンサーでありながら、マイヨー、ラコットなど、フランスの振付家からの信頼も厚いチュージンとスミルノワによる流麗な踊りと、三浦文彰のヴァイオリンの音色が夢の世界に誘います。



Photo: Ashley Taylor / Darian Volkova / Hidemi Seto